真岡市行政評価システム

評価対象年度　令和7　年度　　**事務事業評価マネージメントシート**　　作成日　令和8年3月13日

事務事業名	非常備消防組織活動支援事業		担当課・係	市民生活部　危機管理課　消防防災係
政策名　No	5	「環境づくり」～安全なまちアップ！～	関連する SDGs･DX	
施策名　No	4	防災体制の整備・強化		

成果指標	名　称	単　位	初年度からの実績値の比較 R7	R8	R9	R10	R11	目標値 R11
	消火件数	件	13					
	警戒・捜索件数	件	0					
	水防件数	件	42					

事業内容

・消防団活動支援事業
　非常勤特別地方公務員として、消防団長の指示により、消防団員が消防署員と連携して、火災又は水害・地震等の災害を防除し、災害による被害を軽減する活動
　を行っている。この消防団の事務を市が行うことにより団の運営を円滑にし、地域防災体制の強化を図る。

前年度の課題（Check）

消防団員数が減少傾向にある。消防団活性化検討委員会において、団員確保に向けた取り組みについて協議を行っている。

7年度振り返り

【1】実績（Do）７年度に実施した事業
・消防団活動への支援（各部運営交付金等の支給）
・消防出動報酬等の支払
・ポンプ車2台の更新
・消防会館第1分団第1部解体工事
・消防団活性化検討委員会の開催
・真岡市消防団の活性化に関する提言書の提出

【2】結果と課題（Check）
・消防団員の高齢化や団員数が減少傾向にあるため、地域防災力の低下に繋がっている。
（消防団の現状）
・消防団員向けアンケート結果から、団員確保について、消防団のイメージが悪いことや消防団行事が団員の負担になっているとの回答が多くを占めており、改善に取り組む必要がある。
・団員不足により火災時等の出動への影響が懸念される。

今後の方向性と具体策

□ 廃止　□ 休止　□ 目的絞り込み　□ 目的拡充　□ 事業統廃合　■ 事業のやり方改善　□ 予算削減　□ 予算増大　□ 現状維持(従来通りで特に改革改善しない)

【3】具体的な改善策(Action➡Plan)　課題に記載された内容の解決に向けた取り組みについて、**いつ、何を、どのように実施し解決に導くのかを具体的に**記載してください。

（1）ただちに取り組むべきこと
令和８年度中に真岡市消防団の活性化に関する提言書で提言された消防署OB、消防団OB等で構成する機能別消防団を組織し、充足率向上に努める。

（2）長期的な計画で検討すること
・消防団員が火災現場で使用する水利台帳（消火栓や防火水槽の位置が記載されている地図）が紙媒体しか存在しないため、夜間の消火活動や雨天時に見ることが困難であるとの声が団員から上がっている。また、出動した際の報告書も紙での提出しかないため、出動回数の手作業での集計にかかる事務量が膨大であること等をふまえて、水利台帳と団員の勤怠管理のDX化を検討していく。
・真岡市における外国人住民の割合は令和８年３月時点で約６％で、今後さらに増加していくことが考えられる。外国人向けの防災啓発や災害時に多言語での避難誘導等を迅速に行うため、機能別消防団に外国人消防団員を導入する検討をしていく。